

# 八鹿病院ニュース

平成15年1月 発行 / 八鹿病院広報委員会 <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

## 年頭の挨拶

院長 岩井 宣健

明けましておめでとうございます。

先行不透明な昨今ですが、昨年は小柴さんと田中さんの二人のノーベル賞受賞者が出ました。少し自信を失いかけている私たち日本人にとって、どれだけの自信と希望を与えてくれたか計り知れないものがあります。皆様にとりましても、良き年でありますことを祈っております。

八鹿病院では、昨年8月より新病院の建設工事が始まっており、今年より本格的な工事に着工します。全工期は5年ですが、最初の2年間で11階建ての病棟を建ち上げます。その後、外来部門、検査や手術部門を建てます。

新病院の建設が現地建て替えのため、騒音、振動、病室の採光不良、駐車場が遠くなったことなど療養環境の悪化で皆様には大変ご迷惑をおかけしております。深くお詫び申し上げます。療養環境の悪化防止には最大限の努力をしたいと考えておりますので、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

私たちは地域の皆様と一体となった医療を目指しております。病院には何ヶ所かに「意見箱」が設置してありますので、病院に対するご意見を積極的に寄せ頂きたいと思っております。

職員一同、患者様中心の医療を目指して頑張っていく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



新病院の受付周りイメージ図

## 新病院建設工事の進行状況のお知らせ



現在行っております第1期工事は高層部分並びにエネルギー棟の建設工事です。第1期工事の終了は平成16年11月頃となり、新病棟をオープンいたします。その後、第2期工事(平成16年11月～平成18年12月)残存部分取り壊し並びに外構工事(平成19年1月～平成19年8月)を行います。

2月以降の病院敷地の状況をご説明いたします。

現在の八鹿病院内への出入口は、3カ所ございます。正面入口は午前7時から午後7時まで開いております。夜間入口は24時間出入り可能です。

正面玄関前のロータリーは、お足元のご不自由な方やタクシー等の乗降場所となります。駐車するスペースはございませんのでご了承ください。身障者用駐車スペースは正面入口から道路を隔てた病院北駐車場の一画に設置予定です。

一般来院者の方の駐車場は緑色のエリアとなります。第2駐車場並びに病院北駐車場が一般来院者用駐車場となり、第1駐車場は全て工事エリアとなります。

赤色で斜線しておりますエリアは工事区域となり非常に危険なため進入禁止となります。 建設企画課

今回の現地新築工事におきまして、患者様には大変なご不便をおかけいたしておりますことお詫び申し上げます。この限られた敷地において病院の建設をおこないますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



八鹿病院前バス停から正面玄関までの通路を青色波線で示しました。



患者様の駐車場からの通路を青色波線で示しました。

# ピロリ菌の除菌療法

「潰瘍とがん」  
が予防出来る

## ピロリ菌とは

従来、胃の中には強い胃酸があるために細菌は生息出来ないと考えられてきましたが、1979年オーストラリアの研究者によって、胃粘膜の中に多数の細菌が認められ、ピロリ菌と命名されました。

(写真1)

最近の研究で、このピロリ菌が胃・十二指腸の潰瘍と密接な関係があることが判明しました。ピロリ菌に感染すると、胃粘膜の防御能が低下して潰瘍が出来やすくなるのです。そして、潰瘍の再発を繰り返す人に抗生剤を投与してこの菌を除菌すると、潰瘍が再発しなくなることも分かりました。日本でも2000年秋からピロリ菌に感染している潰瘍の患者さんに対して、3種類の薬を内服してこの菌を除菌する治療法が、保険適応になりました。

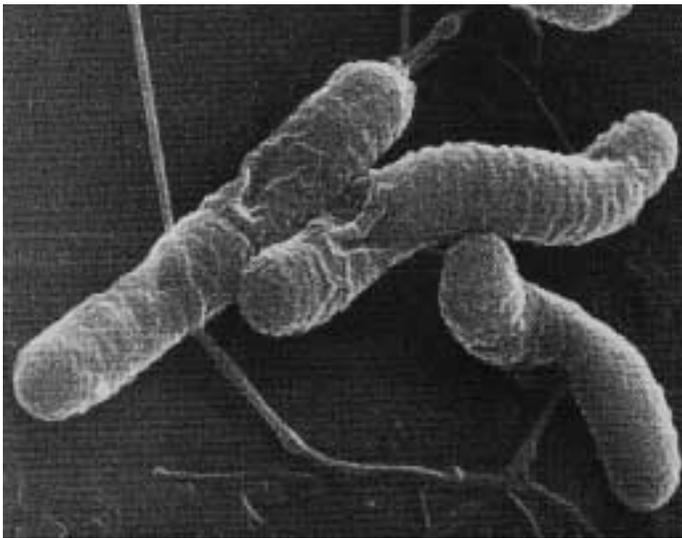


写真1

## ピロリ菌と胃癌

ピロリ菌に長期間感染している人の胃粘膜は委縮して、胃癌が発生し易くなることが最近の研究で明らかになってきました。早期胃癌を内視鏡的切除で治療すると、数年後に又新たな胃癌が発生することが多いのですが、ピロリ菌の除菌を行った人には、その後胃癌が発生しないことが分かり、注目を浴びています。

## 我が国におけるピロリ菌感染の実態

ピロリ菌の感染経路としては感染患者の唾液や便から、飼い猫、家ハエ、ゴキブリ等を介して水や食物に汚染し、経口的に感染すると考えられています。我が国のピロリ菌感染率は10歳以下で5%、10歳代で20%、20歳代で25%と低率ですが、40歳以上の成人では70%と高くなります。これは昭和25年までの衛生状態の良くない時代に生まれた人が、この菌に高頻度に感染したためと思われます。

## ピロリ菌の除菌療法

潰瘍の治療薬と、2種類の抗生物質を朝夕食後に1週間内服します。これによって80~90%の人で、ピロリ菌が消失します。この治療の副作用は比較的軽度で、下痢をすることくらいです。胃・十二指腸潰瘍を繰り返す人が、この治療の適応となります。

## ピロリ菌の新しい検査法

ピロリ菌の感染を診断する方法には、胃内視鏡検査時に行うウレアーゼテストや顕微鏡検査法がありますが、飲酒運転の検問の時に行う検査のように、吐く息を採取して簡単に検査出来る尿素呼気法が当院でも昨年11月から出来るようになりました。今まで潰瘍になった方、現在潰瘍で治療中でこの検査を希望される方は、絶食で胃腸科・外科・内科を受診して下さい。

外科 宮野陽介



## UCAT秋の総会(講演会)を終えて

11月9日(土)、UCAT秋の総会が行われました。UCATの会は、泌尿器系の悪性腫瘍(癌)と告知をうけた方々がお互いに励ましあい、支えながら、力強く生きて行こうという願いから結成された会のことで、今年で11年目になります。今回は、UCATの会員様とその家族、及び、一部の希望者の方も加わり、約60名の参加のもと出石町の静思堂で開催されました。

約30分間のUCAT総会のあと、世界的に有名なギターリスト、ソッコ・マージュ氏をおむかえし、ギターの演奏会を約2時間にわたり満喫しました。皆さんはギターの生演奏を聴かれたことがありますか? プロの演奏がどんなものか想像できるでしょうか? やはりCDで聴くのとは大ちがい!です。生での演奏は、

感動的なものでした。たった一つのギターからかもし出される多種多様な音色、リズム、メロディー、優しい音楽、力強い音楽、自由自在になる音楽を作り出す手は、魔法使いの様にみえました。目を閉じれば、歌のイメージがどんどん広がり、空想の世界を楽しむことができました。

小雨の降る寒い日でしたが、寒さも忘れ、予定の時間を約1時間近くも延長し楽しい時間は終わりました。

来年度からは、UCATの会員様だけでなく、本院、泌尿器科に受診される方々を対象に、年1回の講演会を開催する予定にしています。多くの方の参加を待っています。

泌尿器科外来